



新聞から読むアジアの格差

所得不平等は近年、活発な公的議論の対象となっている。2008-09 年の金融危機とその後の「オキュパイ・ウォールストリート運動」による「1%対 99%」「我々は 99%」といったスローガンが、分配問題を社会的関心の中心に押し上げた。東アジアもこの点で例外ではない。本研究は、香港、日本、台湾の 3 つの社会において、所得格差がどのように議論され、描写されているかを検討する。

背景

- 東アジアは、かつての成長期に「共有成長」(shared growth)、すなわち力強い経済成長と平等を両立させてきたことで知られている。
- 台湾と日本はアジアの中では比較的平等な社会を維持しているが、香港は先進経済の中で高い格差で知られている。
- 日本では少なくとも 2000 年代から格差が顕著な社会問題であり、特に 2006 年に「格差社会」が流行語となって以降、注目を集めている。
- 香港と台湾でも、2000 年代中盤から後半にかけて、所得格差を中心とする格差が社会議論の焦点となっている。
- 本研究は、2001 年から 2024 年までに主要新聞に掲載された関連用語(香港・台湾では「貧富」「不平等」、日本では「格差」「再分配」)を含む記事の傾向を分析し、2016 年から 2023 年の記事に対して内容分析を行った。

研究の知見

- 日本の格差に関する議論は、「格差」という柔軟な用語が性別や地位など多様な要素に適用されるため、より多角的である。
- 経済的格差に限定しても、日本では格差が世代間の現象として描写される傾向が強い。日格差言及の頻度は選挙サイクルにも影響される。
- 香港の格差報道は、他の 2 つの社会に比べて最も否定的で、貧富の次元が強調される。香港では日本と同様に若者/高齢者の言及があるが、世代間ギャップ/対立は明示されない。
- 台湾は格差に対する国家介入を解決策として提案する可能性が最も低く、これは格差のレベルが低いためと考えられる。ただし、日本も格差問題における国家の役割を重視している。

政策への示唆

- 格差を分析するための多次元的政策枠組みを構築し、所得だけでなく性別、世代間問題、地域格差、教育レベルを含む視点を広げる。
- 日本では、特に世代間格差に関する政策をさらに洗練させる。若者の雇用支援や高齢者の積極的エイジングを促すインセンティブ制度などの福祉政策を導入する。



- 香港では、福祉政策の補完的ツールとして累進課税の活用を強化する。福祉制度を拡大し、給付水準を向上させ、福祉サービスの促進と実施を改善する。
- 台湾では、企業の社会的責任や地域ベースの相互支援といったソフトな介入を推進する。格差データの監視と研究を強化し、潜在的な問題を特定し、予防策を講じる。

実践への示唆

- 政府報告書、教科書、メディア議論において、「貧富の格差」という単一の表現を多次元的格差の概念に置き換える。
- 日本では、異なる社会的・世代的背景を持つ市民が政策立案や世代間格差に関する議論に参加することを奨励する。
- 香港では、格差に関する公的議論を建設的かつ解決志向の視点に導き、否定的な感情的影響を軽減し、社会的結束を強化し、社会的緊張の増大を回避する。富裕税、相続税、キャピタルゲイン税などの税制改革の実行可能性と公的受容性を探るため、多様なレベルでの市民参加を促進する。
- 台湾では、教育とメディアを通じて政府の格差対応における役割に関する公的理解を高め、政府介入の正当性と実行可能性の認識を強化する。
- 日本、香港、台湾間で格差に関する対話の地域横断的プラットフォームを設立し、相互学習と政策革新を促進する。

参照

- Barabas, J & Jerit J. 2009. Estimating the Causal Effects of Media Coverage on Policy-Specific Knowledge. *American Journal of Political Science* 53:73-89.
- Boydston, A. Highton B, & Linn S. 2018. Assessing the Relationship between Economic News Coverage and Mass Economic Attitudes. *Political Research Quarterly*, 71:989-1000.
- Brinton, M. 2011. *Lost in Translation: Youth, Work, and Instability in Postindustrial Japan*. Cambridge University Press.
- Epp, D. & Jennings, J. 2021. Inequality, Media Frames, and Public Support for Welfare. *Public Opinion Quarterly*, 84:629-53.
- Kim, H. Huk, S., Choi, S. & Lee, Y. 2018. Perceptions of inequality and attitudes towards redistribution in four East Asian welfare states. *International Journal of Social Welfare*, 27:28-39.
- Rose, M, & Baumgartner, F. 2013. Framing the Poor: Media Coverage and US Poverty Policy, 1960-2008. *Policy Studies Journal*, 41:22-53.
- Yan, M. Cheung, J. Tsui, M. & Chu, C. 2017. Examining the neoliberal discourse of accountability: The case of Hong Kong's social service sector. *International Social Work*, 60(4):976-89.

謝辞

本研究は The Sumitomo Foundation 2023 Grants for Japan-Related Research Projects の助成を受けたものです。

主任研究員

Prof. Mathew Wong (ウオン・マシュウ 准教授) mathew.wong@polyu.edu.hk